

● 参画と協働のまちづくりを進める基本的な方向



● ガイドラインの推進に向けて

協働を進めていくには、担い手がそれぞれの役割を認識することが大切です。

市民

- ・市民一人ひとりが地域に関心をもちましょう。
- ・自分の能力や知識をまちづくりに活かしましょう。

地域 コミュニティ

- ・住民が参加しやすい組織づくりに努めましょう。
- ・地域課題の解決に向け、まちづくりを進めましょう。

市民活動団体

- ・積極的に情報発信し、活動の輪を広げましょう。
- ・自らの専門性などを活かし、社会課題の解決に取り組みましょう。

事業者

- ・持っている情報や技術をまちづくりに活かしましょう。
- ・従業員がまちづくりに参加しやすい環境をつくりましょう。

市

- ・まちづくりが促進されるよう、助成制度や人的支援、活動拠点の提供を行いましょ。
- ・職員一人ひとりの協働意識を向上させましょ。

西脇市 参画と協働のまちづくり ガイドライン 概要版



令和 年 月
西脇市

● 参画と協働のまちづくりガイドラインとは？

市民のまちづくりや市政への参画の促進を目指すもので、「参画と協働」の位置付けや定義、具体的な手法などをまとめることにより、様々な事業を実施する際の参考とし、「参画と協働のまちづくり」を重点的・実践的に実施するために、市民と行政の双方が共有する指針となるもの。

どうして必要なの??



● まちづくりを取り巻く状況

少子高齢化・人口減少

令和32年の西脇市では、65歳以上の高齢者が一番多くなる予想がされているよ。みんなで支えられるかな？

地域コミュニティの機能低下

地域の連帯意識の希薄化などにより、子ども会が無くなった自治会もあり、お祭りなど地域の活動ができにくくなったよ。

自発的な市民活動の活性化

SNSでの情報発信により、社会貢献活動が一般に認識され、まちづくり活動の活発化や新たな繋がりが形成されているね！

ライフスタイル・価値観の多様化

就業期間の延長や女性の社会進出の増加など、社会環境が大きく変化し、みんなのライフスタイル・価値観が多様化しているよ！

● 参画とは…

まちづくりに主体的に関わり、行動すること

参画の手法

- 市民意見提出手続（パブリックコメント）
- 住民説明会
- 審議会・協議会・検討委員会等
- タウンミーティング（まちかどミーティング）
- ワークショップ
- 無作為抽出による市民討議
- 広聴
- 政策提案
- 住民投票



● 協働とは…

みんなで知恵を出し合い、協力すること

協働の手法

- 補助
- 後援
- 共催
- 実行委員会
- 事業協力
- 協働型委託
- 情報提供・情報共有

皆さんの普段の活動こそが、「参画・協働」なのです。皆さんの取組を市ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

